

SSC 埼玉県障害者社会参加 推進 センターたより

令和3年3月30日 128号

編集

埼玉県障害者社会参加推進センター
〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1

県障害者交流センター内

TEL 048-825-0707

FAX 048-825-3070

ssk080321@bz03.plala.or.jp

<http://saitama-shokyo.org/info/>

NPO法人埼玉障害者センター

さいたま市浦和区大原3-10-1

一部100円(会費に含まれます)

10日・20日・30日

メールアドレス

HPアドレス

発行

〒330-8522

価値

頒行

行日

発行日

価値日

発行日

価値日</div

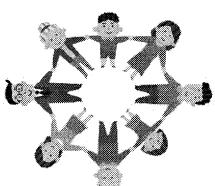
これらの活動を通して、すべての人が手を取り合い、能力を發揮できる、共生社会の実現に向けた取組の一翼を担っていただいてることに、深く感謝申し上げます。

県といたしましても、今後とも社会参加を一層推進する取組

を行うとともに、充実した施策を実現できるよう努めてまいりますので、どうか皆様には引き続き御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



2019年 盲ろう者のコミュニケーション学習会



さて、今年度は、コロナ禍で不安な状況が続く年となりました。こうした中にあって、昨年十月、皆様のつながりを持続するために、オンラインなど様々な工夫を凝らして感染予防対策を行い、第41回障害者まつりが開催されましたことは、大変意義深く感じております。

まつりのテーマにもあつたとおり、まさに手と手をつないで絆を深め、交流の輪を広げる機会となつたのではないでしようか。

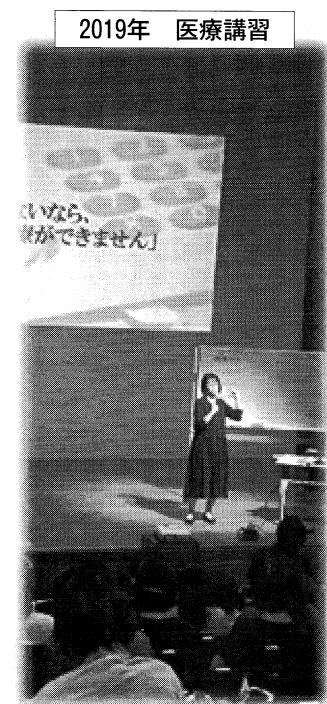
でも途切れなかつた障害者まつりが、障害のある方もない方も共に集うふれあいの祭典として、これからも歴史を刻んでいくことを御期待申し上げます。

さて、今年度は、コロナ禍で不安な状況が続く年となりました。こうした中にあって、昨年十月、皆様のつながりを持続するために、オンラインなど様々な工夫を凝らして感染予防対策を行い、第41回障害者まつりが開催されましたことは、大変意義深く感じております。

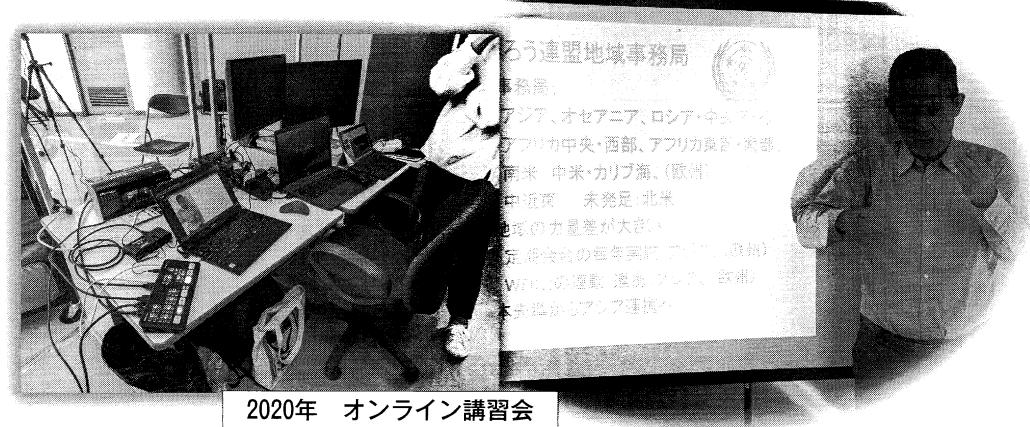
この障害者まつりは「完全参加と平等」を願い、国際障害者年の前年の1980年からスタートしました。毎年当課も参加させていただいておりますが、楽しい催しやシンポジウムなどが盛りだくさんで、いつも大変

まつりを楽しみにしている方が多くいらっしゃり、長年にわたりたくさんの方々に親しまれて

いることを感じます。コロナ禍

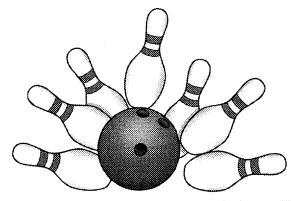


2019年 医療講習



2020年 オンライン講習会

最後に、特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会のますますの御発展と加盟団体の皆様の御健勝、御多幸を心より祈念申し上げまして結びの言葉とさせていただきます。



ボウリング教室

社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会

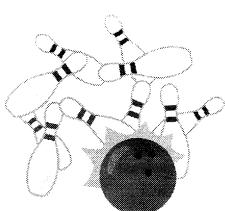
古畑 ふるはた 直子 なおこ

埼玉県身体障害者福祉協会の青年部会が主催で行っている、障害者レクリエーション活動等実施事業のボウリング教室が、令和2年11月15日（日）に川越市南古谷ウニクスボウルにて行われました。

このボウリング教室は平成27年度より開始され、青年部会の事業の中でも人気のあるレクリエーション事業のひとつです。

他の事業が軒並み中止となる中、このボウリング教室に関しては、開催場所である南古谷ウニクスボウルの感染予防対策がしっかりととなされていることもあり、開催することができました。

今回の参加者は25名、皆さんの検温後、開会式を行い、部会長の挨拶、始球式ののち、各レーンで3名ずつのチームでゲーム開始です。通常は4名ですが、感染予防のためのチーム構成です。レーンにある待機用の椅子も4人だけですが、2席だけ座



れるようになつており、レーンとレーンの間にはアクリル板もあり、隣との接触も極力避けることが可能となつていきました。

ゲームは2ゲームを行い、トップのスコアで順位が決まります。どの障害をお持ちの方もゲームが楽しめるようにノーガーターレーンで行いました。投球にすべり台を利用して、肢体に

と各自の成績表を見ながら食事をし、交流を深めるのですが、

今回は表彰式後にすぐ解散となりました。

これから、新しいスタイルでの開催が続くのかと思いますが、人と人とのつながりや言葉を交わすことの大切さを感じ、新しいたちの事業開催を臨機応変に対応し、模索しながらも、継続して開催していきたいです。

障害がある方や、小学生もゲームに参加しました。

皆さん、なかなか体を動かすことや人のふれあう機会が少なくなつていたためか、自然と笑みがこぼれ、ハイタッチをしたい気持ちをグッと抑えて、ゲームを楽しんでいるようでした。

ゲーム後、順位が確定し、成績発表です。1位、2位、3位、敢闘賞、努力賞の方には賞品として感染予防グッズが贈られました。例年です

社会参加推進事業

平成の 30 年から令和の 30 年を考える ～「～ダ尾中の視点から～

社会福祉法人 埼玉県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会

10月11日、埼玉県障害者交流センターで社会参加推進事業の講演会を開催しました。

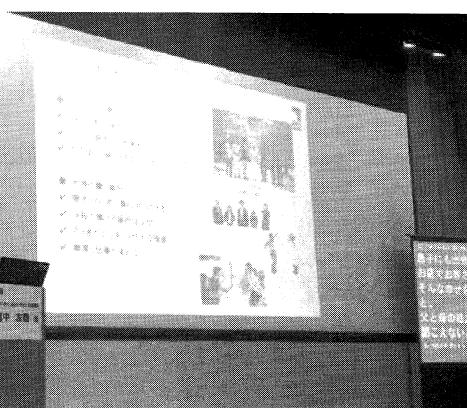
テーマは「平成の 30 年から令和の 30 年を考える～コーダ尾中の視点から～」、講師は尾中友哉氏で、聴覚障害のある人たちが活躍できる環境づくりを行う

株式会社サイレントボイスと、増やす NPO 法人サイレントボ

イスの代表をしています。

聴覚障害者の両親のもとに生まれ、聞こえる子どもとして手話を第一言語に育ち、入園した幼稚園で先生やまわりの子どもたちに手話で話しかけると全く通じないどころか、「魔法使いだ！」と逃げられたりして、なかなか周りの人と関われなくて、毎日泣いて帰っていたそうです。

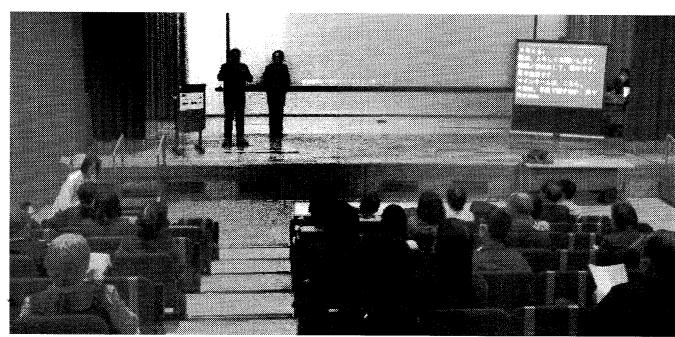
そんなある日、山登りの遠足で、男の子から木いちごを渡されて一緒に食べ、大きなジェスチャーを交えて「おいしいね！」と言つてくれた。そして音声で聞く「おいしい」の意味



株式会社サイレントボイスと、増やす NPO 法人サイレントボイスを、家に帰つて母親に伝えたかった。でもうまく伝えられないもどかしさに母と 2 人で泣いていた。その時に帰つてきた父親が、車に乗せて再び遠足に行つた山に連れ出してくれた。山で木いちごをみつけて、やっと伝えられた時、父親に抱き上げられ一緒に喜んでくれた時の感動から、コミュニケーションに対する諦めない姿勢の大切さを教えてくれたという話は、聞いていた参加者もとても感動しました。

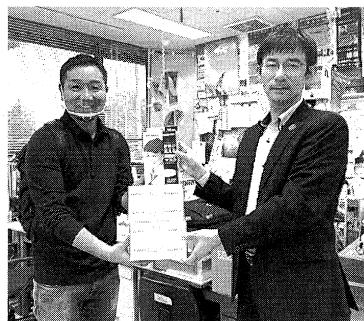
尾中氏は電気製品の工場で黙々と働く父親、太陽のように明るく、喫茶店を経営する母親を尊敬し、誇りにしています。

だから、「聞こえないから無理、できない」と負のイメージで見がちな社会に対し、自分は聞こえるけれど、聞こえない両親から色々生きていく上で大切なことを学び、助けられている、障害のあるなしに関係なく、持つ持たれつの関係ができるのに、といった軽然としない思いを抱いていたそうです。



そして広告会社に就職後、思い描いていたような仕事ができること、毎日お得意様の接待

で飲み会が続き、何のために働く
いているのか悩んでいた頃、お
団子屋の行列で並んでいたら、
先頭の客のろう者がお店とのや
りとりに四苦八苦していること
に気づいて通訳。その後並び直
したら、そのろう者から「あり
がとう」とお礼にお団子を分け
てくれたのがとても嬉しかった
のと同時に、手話ができること、
聞こえない人と関わりで育つて
きた自分だからこそできる仕事
をしたい、と強く思つたと、起
業のきっかけになつたエピソー
ドも話されていました。



そして会社を立ち上げ、福祉
国家のフィンランドに行つたと
き、コミュニケーションツール
(手話・筆談等)を自分で選べ
るのが当たり前になつていて
「福祉」を超えた「人権」モデ
ルの社会を目の当たりにし、日
本でもお互いを理解しあえる、
一人ひとりが輝ける社会にして
いきたいと話されていました。

うに、令和の情報アクセスのツ
ールが豊富な時代に合つた方法
で、聞こえない人も対等に活躍
できる場を増やしていきたいと
も話されていました。

「障害のない人が障害者を理
解する」よりも、お互いを理解
し、協力し合えるのが当たり前
の社会にしていきたいという、
今まで共生社会を目指して運動
している私たちの中にもストン
とくるような、コーダだからこ
そその貴重なお話を聞くことができました。

- ・コーダの立場での
お話、もっとたく
さん聞きたかった。
・とても愛情あふれ
た生き立ちで、そ
こから気づくもの
は生育環境が大き
くかかわつてくる
と思うし、色々な
発見をつかむのだ
と思う。すばらし
いことです。

人と人のつながり
がろう教育に欠か
せないことを、あ
らためて再確認さ
せられた。将来ろ

う学校の教員にな
つたら、自分から
伝える、相手にも
伝えてもらうとい
う「相互理解」を
大切に考えられる
教育をしたいと思
つた。

参加者の感想

(福祉・労働委員会)

<賛助会員加入のコーナー>

私たちは、埼玉県障害者協議会の活動を応援しています。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、すべての人にスポーツを楽しんでほしい。「競技」だけでなく、日常的に取り組めるスポーツ活動を応援したい。をスローガンに日々活動しています。障がいがあるなしにかかわらず、健康で元気に生活するために、スポーツの持つ様々な要素・スポーツの力が必要です。今後とも、埼玉県障害者協議会同様ご支援ご協力を願いいたします。

文具・事務用品・オフィス家具のスーパー ストア

オフィスベンダー

〒337-0042さいたま市見沼区南中野241-1

<http://www.office-vender.com/>

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。賛助会員の会費は、年一口2,000円です。入会をご希望の方は、下記の口座へお振り込み下さい。

<郵便振替> 【口座番号】 00130-9-673233

【口座名称】 特定非営利活動法人

さいたまけんじょうがいしやきょうぎかい
埼玉県障害者協議会

生活訓練事業について

埼玉盲ろう者友の会 学習部長 藤本 信行

盲ろう者友の会学習部では、みなさんはコミュニケーション勉強会を生活訓練事業として行ってきました。ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、友の会の行事がすべて中止となり、学習部の活動もできませんでした。毎月のコミュニケーション勉強会は休止、感染が落ち着くのを待つて盲ろう者が楽しく参加できる講演会を開きたいと準備していたのですが、年末からの爆発的感染拡大で2度目の緊急事態宣言発出となり、年1回の講演会も断腸の思いで中止せざるを得ませんでした。

盲ろう者友の会学習部では、毎年講演会やコミュニケーション勉強会を生活訓練事業として行つてきました。ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感

障害をお持ちでしょうか。

盲ろうという目と耳の一重の障害を持つ私たちですが、その多くは成人したのちに障害が重

害への対応として盲ろう者自身のためのコミュニケーションの学習が必要になるわけです。さらに、盲ろう者をサポートしてくれる通訳介助員の援助力を高める場としてもこの勉強会はとても大切なものです。

今回のコロナ禍で困ったことは、ソーシャルディスタンスの確保です。盲ろう者は、見えず聞こえないために周りの人との会話が難しく、近くに誰がいるのか、何が起きているのかもわからないため、通訳介助員のサポートが必要になります。そのサポートは、手や体に触れての



複した人達です。例えば視覚障害を持つていて成人した後に耳も聞こえなくなる、その場合は獲得している点字を指に置き換え、二人で両手の指に点字を打ちあう指點字という方法を使います。またろう者がのちに目も不自由になつた場合は、弱視手話や、手で手話を読み取る触手話を使います。それら新たな障

害への対応として盲ろう者自身のためのコミュニケーションの学習が必要になるわけです。さらに、盲ろう者をサポートしてくれる通訳介助員の援助力を高める場としてもこの勉強会はとても大切なものです。

一日も早く安全なワクチンの接種が進み、盲ろう者と通訳介助員が安心して集い、交流できる日が来ることを願っています。通訳介助員や、耳元で伝えてもらうなど、他人との距離を保つことが難しくなります。結果として、介助員の依頼を遠慮するところになります。またオンラインでの対応も難しいため、社会参加や対話の機会が少なくなつて

【加盟団体活動紹介 第二十一回】

きょうせん埼玉支部

障害のある人びとの働く権利、活動に参加する権利、生活の権利など人間としての諸権利の保障を追求し、関係者一人ひとりが大切にされる事業体を基礎にしながら、市民と共に住み良い社会づくりをめざすことを目的とする。(きょうせん埼玉支部既定 第2条(目的))

発行会報誌

全国機関紙「TOMO」
支部機関紙「TOMO 埼玉」

毎月1回発行。

賛助会員に自宅に届く。

障害のある人びとの働く権利、活動に参加する権利、生活の権利など人間としての諸権利の保障を追求し、関係者一人ひとりが大切にされる事業体を基礎にしながら、市民と共に住み良い社会づくりをめざすことを目的とする。(きょうせん埼玉支部既定 第2条(目的))

目的

設立年

昭和54年設立。

ホームページ

無し

地域のすみずみに」のスローガンを掲げました。わたしたちは、めざすものは、人びとが労働を通じて社会に参加し、また、地域でのゆたかな暮らしを築く権利の保障をめざします。

2、わたしたちは、障害のある人びとと関係者一人ひとりが大切にされる事業体として民衆的な経営をめざします。

3、わたしたちは、地域における共同の事業や運動をすすめ、障害のある人びとが生きがいと誇りをもてる社会をめざします。

4、わたしたちは、障害のある人びとの夢ある明日をめざし、科学と創造の視点を大切にしながら団結して前進します。

また、支部結成から、埼玉県に要望活動をおこなっています。利用者部会(WA会)もアンケートをとり要望項目をまとめ、県との話し合いにも参加して、実情を訴えます。今年2020年はコロナ禍で、事業所の緊急調査をおこない、4回の要望書を県に提出しました。利用者部会は、「アート仲間展」(2020年は中止)、仲間学習交流会もおこなっています。

埼玉で「わたしたちのめざすもの」を実現していくよう取り組んでいます。

会員数
会員数
会員数
会員対象
障害別を問わず、成人期の障害者事業所。きょうせんの「わたしたちのめざすもの」「規約」に同意し、理事会の承認が必要となります。

本柱で活動をすすめきました。2014年(平成26年)から「あたりまえに働き えらべるくらし」～障害者権利条約を



活動紹介

4委員会、利用者部会をはじめ4部会、7ブロックで活動をすすめています。

きょうせんの結成以来取り組んでいる国会請願行動(現在44次)ときょうせんは独自の財源を確保のための事業活動を支部でも連動して取り組んでいます。

また、支部結成から、埼玉県に要望活動をおこなっています。利用者部会(WA会)もアンケートをとり要望項目をまとめ、県との話し合いにも参加して、実情を訴えます。今年2020年はコロナ禍で、事業所の緊急調査をおこない、4回の要望書を県に提出しました。利用者部会は、「アート仲間展」(2020年は中止)、仲間学習交流会もおこなっています。

埼玉で「わたしたちのめざすもの」を実現していくよう取り組んでいます。

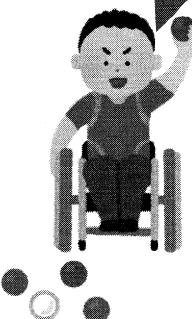
障害者と健常者がともに楽しめるスポーツ

障害者スポーツとは？

障害者スポーツとは、障害があつてもスポーツ活動ができるよう、障害に応じて競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障害を補ったりする工夫・適合・開発がされたスポーツのことを指します。

ルール面や安全面での配慮を行っているだけで、障害者スポーツという特別なスポーツがあるわけではありません。そのためアダプテッド・スポーツ（障害のある方に適応されたスポーツ）とも言われます。

ボッチャ



ルール

パラリンピックの実施競技になっているスポーツで、日本チームは2016年リオパラリンピックで銀メダルを獲得しました。重度の脳性まひなど四肢に障害のある人のために考案されたスポーツですが、子どもから大人まで幅広く楽しめます。

ジャックボール（白）に向かって、赤と青それぞれ6球のボールを投げどれだけ近づけられたかを競う。

相手のボールに当ててはじく、自分たちの優位な位置へとボールを動かすなど、ゲーム性、戦略性が高い。

ボッチャ用具を貸し出します

埼玉県障害者協議会では、ボッチャ用具を4セット用意していますので、障害者団体、障害者支援施設のレクリエーション、イベントなどでご利用ください。また、障害者が友達と楽しみたい、体験したいという時なども、お気軽にお問合せください。指導者にアドバイスを受けたい場合もご紹介できますのでぜひご利用ください。



お問合せ

埼玉県障害者協議会

TEL 048-825-0707 メール ssk080321@bz.plala.or.jp



次回は、卓球バレーを紹介します

編集後記

「センターだより128号」をお読みいただきありがとうございました。

昨年の今頃は、新型コロナウィルスの感染拡大の影響が大きくなり、緊急事態宣言が発令されるかどうかの議論がされていたのではないかと思います。あれから1年、未だ感染拡大以前のように活動したり、イベントを開催したりするのは難しい状況にあり、日々の生活も感染しないよう緊張や不安な気持ちの中で過ごしている感じがします。一方、この時期は桜が見ごろになっているころ。桜を眺め春の訪れを感じ、緊張や不安で張りつめている気持ちが少しでも和らいだらいいと思います。(石田)

正 誤 表

本紙4ページにて、誤りがございましたので下記のとおり訂正します。

誤	社会福祉法人 埼玉県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会
正	一般社団法人 埼玉県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会

皆様に深くお詫び申し上げます。

埼玉県障害者社会参加推進センター